

「前橋の美術 2027 – みんなのアーツ –」 趣意

2017年、2020年、2024年と過去3回にわたって行われてきた「前橋の美術」は、前橋出身や在住・在勤など、前橋にゆかりのある作家を中心とした市民主体の展覧会をつくったことで、画期的なものになったと評価されました。とくに地元前橋でもあまり知られていない作家もいて、この展覧会を通して、市民をはじめ県内外の方々に周知されたことは意義深いことありました。第4回目となる「前橋の美術 2027」は、「公募」による作家の選出を主軸に、より広く新しい視点に立って、展覧会を構成し、サブタイトルは「みんなのアーツ」としました。今回の「前橋の美術」は、みんなのいろいろな表現「アーツ（Arts）」の発表の機会となり、表現者、鑑賞者、関係する方々で展覧会をつくりあげていこうというメッセージを込めました。また「みんなのアーツ前橋」という意味もあります。みんなに「アーツ前橋」をより身近に、より親しみを持ってもらいたいという思いがあります。

現在、芸術の場は、従来のジャンルを超えて相互に影響し合い、新しい表現を作り出しています。今回の「前橋の美術」では、その現状を積極的に取り入れ、美術とのコラボレーションの場を作っていくことを計画しています。プロフェッショナル、アマチュア、世代、ジャンル等を超えて、表現する者が集う場に、そして、その表現を共に享受する機会にしていきたいと思います。「前橋の美術 2027 – みんなのアーツ –」は、前橋市民による、前橋市民のための芸術創造の場であると考えます。

企画構成

公募による前橋ゆかりの作家の展示／身体表現（踊り、演劇、朗読、音楽など）の発表／前橋の地域性に着目した展示企画／市民参加と交流の場の提供

前橋の美術 2027 実行委員会